

慶応8強、桐光学園との強豪対決制す 2年横地広太が値千金2ラン／神奈川

＜高校野球神奈川大会：慶応 8－3 桐光学園＞◇5回戦◇22日◇サーティーフォー相模原球場



5回表慶応1死二塁、
横地は右越え本塁打を放つ
本塁打を放ち笑顔を見せる

(いずれも撮影・鈴木正人)

慶応が桐光学園との強豪対決を制し、準々決勝へ駒を進めた。1-2で迎えた5回。先頭の荒井駿也投手(3年)が内野安打で出塁すると、続く二宮慎太郎外野手(3年)がきっちりと送りバントを決め、1死二塁のチャンスをつくった。打席には2年生、横地広太外野手。初球、相手先発、渋沢康羽投手(3年)

が投じた甘く入った直球を逃さなかった。「打った瞬間いったかなと思った」と振り返る右翼席への豪快な1発は、値千金の逆転2ラン。この本塁打で主導権を奪取した慶応は、その後もコンスタントに得点を重ねた。



慶応対桐光学園 勝利し喜ぶ慶応の選手たち(撮影・鈴木正人)【桐光学園－慶応】(神奈川新聞社)

投げては、先発荒井が6回4安打2失点で試合をつくり、7回からはエース前田晃宏投手（3年）が3回1失点の好救援。投打がかみ合い、終わってみれば8-3の快勝だった。

森林貴彦監督（48）は「とにかくチャレンジャー。試合の日は勝負じゃなくて答え合わせだから気楽に行けと言っている。次も変わらずです」と気を引き締めた。次戦は24日、麻溝台対横浜清陵の勝者（横浜清陵）とぶつかる。

(C)2020,Nikkan Sports News.nikkansports.comに掲載の記事・写真・カット等の転載を禁じます。
すべての著作権は日刊スポーツ新聞社に帰属します。

(黄地紋・林 莊祐)

慶応 010 020 230 =8 H16 E0 [慶] 荒井(6)、前田-坪田 [本] 横地 (慶)
桐光 002 000 100 =3 H8 E0 [桐] 澁澤(5)、中嶋(1.2/3)、針谷-石井

5回戦 県立横浜清陵 vs 県立麻溝台 7月22日(木) 等々力球場
清 陵 200 100 300 =6 H12 E1
麻溝台 000 000 110 =2 H3 E4

<試合後の投稿>

清陵高校にとっての歴史的一日。
ありがとう、頼もしき後輩たち。
おめでとう、清陵に関わる全ての方々。
創部史上初、神奈川夏ベスト8進出 Baseball



【桐光学園-慶応】2021年7月22日(木) 13:52

慶応が8強進出、第1シードの桐光学園破る

16安打8得点

高校野球の第103回全国選手権神奈川大会は22日、サーティーフォー相模原球場などで5回戦が行われ、2018年以来の甲子園出場を目指す慶応が8-3で第1シードの桐光学園を破り、ベスト



8進出を決めた。

慶応は1-2の五回、横地広太（2年）の2点本塁打で逆転すると、七回には小堀政泰（3年）の2点打で突き放した。八回にも二宮慎太郎（3年）、今泉将（3年）の適時打で3点を追加。計16安打で8得点を挙げた。

守っては荒井駿也（3年）、前田晃宏（3年）の2投手が要所を締め、桐光学園打線を3点に抑えた。

慶応は24日にサーティーフォー保土ヶ谷球場で行われる準々決勝で、横浜清陵-麻溝台の勝者と対戦する。